

厳しい環境での増子記念病院の現状と進歩

令和4年6月発行



衆済会増子記念病院

理事長・院長 両角國男

2月24日にロシアがウクライナに正当性なく侵略しました。破壊された街並み、国民への無差別攻撃による死傷者と蛮行は正常な国際社会での出来事とは思えません。戦争反対の声をロシア国民が上げられないのは独裁者国家では国民を偽りの報道で洗脳し、さらに民主的言動を許さない国家統制のためです。一方、世界中で良識ある民主化が後退し、欧米でも排他的エゴイズムの愛国者や極左グループが増加していることは気がかりです。世界平和には各国の相互理解と支援体制が重要で、ウクライナに平和が戻る日が早いことを祈りたいと思います。

新型コロナ感染第6波のピークは越え社会規制はなくなりましたが感染終息する気配がありません。オミクロン株感染後の症状は軽症が大半で、重症肺炎も稀ですが透析療法中や心肺に基礎疾患がある高齢者には生命への危険があります。皆さんにお約束したように増子記念病院では自施設にて治療中の透析患者さんは当然として他施設の透析患者さんも多数入院、隔離透析を実施し、愛知県内、名古屋市内で最も多くの透析患者さんのコロナ感染を治療しました。

2年前から始まった新型コロナウイルス感染禍で日常生活や通常医療の制約期間も経験しましたが日本の医療は平常に戻っています。世界に目を向けると欧米では、マスクなしで以前と同じ生活に戻った国が増えています。一方、中国では非常に厳しいロックダウンが上海などで行われています。コロナウイルス感染対策が国により違うのはなぜでしょう？欧米社会は感染後の重症化・死亡リスクが下がったなら個人の生活や経済、社会優先の立場を取り、感染対策と結果を含め自己責任と考えます。一方、日本はどうでしょう？新型コロナ感染症は感染症法二類相当維持が行政の立場ですが、多くの専門家はインフルエンザ（五類）に近いと考えています。感染例が集積され、ワクチンも開発され、治療薬も複数出てきたので規制緩和を進めることができる時期と思います。三密を避け、ワクチン接種を受け、マスクと手洗いを励行しながら日常生活や社会生活が以前に戻るまでもうしばらくの辛抱です。

最近新聞などに増子記念病院が掲載されることが増えていますがお気づきでしょうか？肝臓腫瘍局所治療センター、腎臓病の治療に関連した記事、管理栄養士や理学療法士が腎臓病対策でどのように活躍しているか、多くの記事が掲載されました。メディアから注目される治療が増子記念病院で展開され、今後さらに増えると思います。さらに、新型コロナウイルス感染禍の経験を糧に増子記念病院は感染症対策も含め多くの患者さんや地域住民の皆さんにとって一段と頼りになる病院へ成長しました。4月から優秀で信頼できる医師や多数の職員が加わりました。「患者とその家族、職員とその家族の幸せのために」の理念で良質な診療を展開していく「増子記念病院」にご期待ください。

1. 新任医師の紹介

4月から増子記念病院に新しい医師が加わりました。

その中から、**血管外科の只腰雅夫（ただこしまさお）先生**、
腎臓内科の青井智典（あおいともり）先生の2名を、それぞれご紹介します。



4月1日に当院入職しました只腰雅夫です。透析シャント関連の手術やカテーテル治療を主に担当しています。

昨年度は、当院、名古屋徳洲会病院、高山赤十字病院、土岐市立総合病院、天野記念クリニック等で、1000件余りの治療件数となっています。

よりよいシャント管理を提供できるように、日々研鑽し、手技の向上に努めて参ります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

血管外科 只腰 雅夫 先生



4月から赴任した青井智典と申します。名古屋第一赤十字病院で初期研修・後期研修を行い、腎臓内科医となり、半田市立半田病院、名古屋大学大学院を経て現在に至ります。

診療においては、患者様の話をしっかりと聞き、わかりやすい説明をするように心がけています。気になることがあれば何でも相談していただければと思います。

趣味は旅行や食べ歩きです。よろしくお願いします。

腎臓内科 青井 智典 先生



2.肝腫瘍局所治療センターのオープンについて

2021年11月、肝腫瘍局所治療センターが新規にオープンしました。

当センターでは、電磁波の熱で肝腫瘍を焼き切る「焼灼療法」を専門に行っています。この「焼灼療法」の特徴として、開腹せず針状の電極を刺し行う方法のため、患者さんの体の負担が少ないことや、再発しても繰り返し治療を行えることが挙げられます。

昨年の診療ガイドラインの改定でも効果が見込めるとされ、新聞紙面でも大きく取り上げられました。



実際には、事前にCTの画像などで正確に位置を確認した上で、局所麻酔下に皮膚を数ミリ切った後、直径1.8ミリの電極を刺すことで治療を行い、10分程度の治療時間となっています。詳細については、当センターや病院のホームページをご覧ください。

3.病院ホームページのリニューアルについて

増子記念病院の公式ホームページがリニューアルしました。新しいホームページはモバイル表示に対応し、スマートフォンやタブレットの画面でも快適に閲覧できるようになりました。

当院ホームページでは、診療内容のご案内や、タイムリーなトピックス、病院に関係する様々な動画などもご覧いただくことができます。また、適切な情報を皆さんにお届けする為に、随時、各掲載内容の更新改定を行っております。

積極的なアクセス、ご活用をいただきますようよろしくお願いいたします。



4. 読者アンケートご協力のお願い

増子記念病院の広報誌「ますこ・すばる新聞」をいつもご覧いただき、ありがとうございます。

「ますこ・すばる新聞」は、患者さんや地域の皆さんに、当院の事をより知っていただくために定期的に発行している情報誌です。このたび、より良い広報誌企画へ向けて、読者皆さんの声を集めるためのアンケートを行うこととなりました。広報誌、または病院ホームページへの皆さんのご要望や、企画提案がありましたら、ぜひこの機会にお聞かせください。

右のQRコードからアンケート回答ができます。皆さんのご意見をお待ちしております。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

(回答期限：令和4年11月末)

※ 個人の特定ができない匿名回答システムとなっております。

